

第172回国際研修 「人身取引及び移民の密輸への実務的対応」

1 日程及び参加者

- 令和元年5月15日（水）から同年6月20日（木）まで
- 海外参加者17の国・地域から21名
- 国内参加者7名

2 研修概要

近年のグローバル化の進展により、人の移動や物の取引、資金や情報が国境を越えて世界規模で拡大している。同時に、容易に、国境を越えた違法な取引が展開するようになった。国境をまたぐ犯罪組織の暗躍や犯罪の拡大は、グローバル化の負の側面の一つであるといえる。

国際犯罪組織は、巨額の違法収益を得るために、薬物取引、銃器取引、模造品取引、更には人身取引、移民の密輸といった、多様な違法行為に及んでいる。人身取引や移民の密輸は、犯罪組織にとっては「儲かるビジネス」であり、国際犯罪組織の行う犯罪行為の主要な形態になっている。

人身取引や移民の密輸を有効に取り締まるためには、法執行機関は、犯罪の首謀者を検挙し、犯罪収益を適切に剥奪するために、法的にとり得る捜査手法を最大限駆使しなければならない。とりわけ、人身取引や移民の密輸が、犯罪組織に多くの利益をもたらすという性質に鑑みると、経済的な利得やその他の収益を剥奪することは、犯罪組織に対する有効な対策の一つである。そのため、犯罪によって得られた不法収益を特定、追跡、凍結、押収、没収することは、極めて重要である。

本研修では、人身取引や移民の密輸の現状を把握した上で、現状に即した対策の実務に関する参加者の知識・理解を深め、それぞれの国内における刑事司法実務の改善につなげるとともに、互いの制度・実務に関する基礎的な理解を通じ、参加者各国間での捜査共助を始めとする国際協力の円滑な遂行に役立てる。

3 客員専門家等

本研修においては、アジ研教官による講義のほか、以下の客員専門家・外部講師による講義を行う。（敬称略）

【客員専門家】

- ジャニス・ブレナン 氏
英国 法廷弁護士（バリスター）
- マーティン・フォーク 氏
国連薬物・犯罪事務所（UNODC）条約局 反人身取引・密入国部 部長代理
- セヴェリーノ・H・ガーニャ・Jr 氏
フィリピン司法省 元次長検事

【外部講師】

- 秋本 慎二 氏 警察庁刑事局組織犯罪対策部 組織犯罪対策企画課
犯罪収益移転防止対策室 課長補佐
- 新井 淳 氏 警察庁生活安全局保安課 課長補佐
- 戸上 正邦 氏 東京出入国在留管理局羽田空港支局
偽変造文書対策室 調査係長
- 仲 真紀子 氏 立命館大学総合心理学部 教授

以 上